

議事録：平成 30 年度 1 回石狩市文化財保護審議会

■日時：平成 30 年 5 月 15 日（火）9：00～12：30

■会場：石狩市役所 402 会議室、道の駅石狩「あいろーど厚田」

■出席者

石狩市文化財保護審議会委員

- ・村山耀一
- ・百瀬 響
- ・坂梨夏代
- ・長 良幸
- ・若林真紀子

事務局

- ・鎌田英暢（教育長）
- ・佐々木隆哉（生涯学習部長）
- ・東 信也（生涯学習部次長）
- ・志賀健司（文化財課主査・学芸員）
- ・石井 悟（文化財課主査）
- ・坂本恵衣（文化財課主事・学芸員）

■欠席委員

- ・三浦泰之
- ・鈴木明彦
- ・加藤和子

■傍聴者

0名

1. 委嘱状交付
2. 教育長あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長、副会長選任
5. 会長あいさつ
6. 報告事項
 - 1) 平成 29 年度文化財関係事業について
 - ①文化財関係事業の状況
 - ②研究活動の状況
 - ③プロジェクト M への活動支援報告
 - 2) 平成 30 年度文化財関係事業について
 - ①文化財関係事業計画
 - ②平成 30 年度プロジェクト M の活動支援
7. 石狩小学校円形校舎利活用検討委員会について
 - 1) 検討委員の選出
8. 道の駅石狩「あいろーど厚田」見学
9. 議事での質疑応答は下記のとおり

石 井：平成 30 年度第 1 回石狩市文化保護審議会を始めます。今回は新しい任期が始まって初めての審議会になりますので、出席されている皆様に教育長から委嘱状を交付いたします。

(委嘱状交付)

教育長：教育長挨拶

- ①新たな委員加入について
- ②北海道 150 年に伴う石狩市内での活動等について
- ③道の駅石狩「あいろーど厚田」の郷土資料コーナーと、厚田・浜益両地域に関わる今後の調査等について
- ④石狩小学校円形校舎利活用検討委員会について 等

教育長・東次長退室

石 井：審議会委員さん入れ替えがありましたので改めて委員さんの紹介をさせていただきます。

(審議委員紹介)

事務局にも変更がありましたのでそれぞれご紹介いたします。

(事務局自己紹介)

今後の予定として、会長・副会長の選任、報告事項、円形校舎利活用検討委員会について委員指名・厚田道の駅となっております。

(資料確認)

石 井：会長・副会長を選任したいとおもいますが、事務局一任でよろしいでしょうか。
それでは会長に村山さん、副会長に百瀬さんよろしく願いいたします。

この後の議事の進行は会長をお願いいたします。

会長挨拶（市民の中でも石狩の新しい文化遺産・歴史遺産を発見して活用していきたいという活動が見られます。その中で審議会でも事務局に提示される議題だけではなく、審議会の中でも話したいということがあれば提案していただきたいと思
います。）

会 長：議事ですが、報告と道の駅見学になります。まず報告事項についてお願いいたしま
す。

志 賀：1) 平成 29 年度文化財関係事業について説明。

会 長：29 年度の報告について何か質問はありますか。

百 瀬：資料館の入館者数について、厚田旧資料館が休館ということで、以前と比べて減っ
ているのですか。

石 井：厚田の資料館については、休館ということで0になっています。砂丘の風資料館に
ついては増加、浜益の資料館については 29 年度は大雨の被害がありましたのと、
年度によって上下が激しいということもあり、例年より少ない形になります。

百 瀬：厚田の資料コーナーの入館者数はカウントできますか。

佐々木：道の駅の展示だけではできません。

百 瀬：少し残念ですね。

長：会長から委員が積極的な審議会というご提案がありましたのでご提案いたします
が、道の駅の展示が無料ということもありますし、砂丘の風資料館・浜益の資料館
についても無料にしてはいかがかと思いますが。

佐々木：昔は役所の社会教育施設は無料というのが多かったのですが、徐々に有料に変わっ
てまいりました。道の駅の展示コーナーに関しては、道の駅に併設という性質上、
特例として無料にしているという理解にあります。この展示コーナーは以前審議
会で無料化について審議していただいたこともありますが、その他の社会教育施
設全般が無料化にむかっていくという流れは難しいのかなと思います。

会 長：そういう性質上カウントも難しいということですね。

佐々木：展示が特定の室内だけではなく、外にもあるということもあり難しくなっています。

坂 梨：埋蔵文化財保護について事前協議 8 件・試掘 3 件とありますが、これはどちらで
しょうか。

石 井：今すぐ明確な回答ができないのですが、聚富等だったかと思いますが。

会 長：あとで石狩小学校検討について話があるとうことですが、いま石狩市が保管してい
る資料をより市民に公開していくという中で、その場がないということもありま
すが、これか今あるものをより市民の目につなげていくことが重要になるかとお

もいますが、どうなっていくですか。

佐々木：保管場所も含め、そうした場所を整備していこうと考えており、もっと大きな構想の中で一段階目として石狩小学校の活用というところにあります。

若林：石狩小学校が歴史的な建造物として残るといえるのわかるのですが、保管場所として残るといえるのでしょうか。

佐々木：具体的な活用については検討委員会で考えていくことになるかとおもいますが、我々としては保管・展示・研修等ができる施設ということで考えております。

若林：埋蔵文化財についての問い合わせとありますが、これは市に寄贈した資料が今はどこにあるのだろうかという話を聞きますが、そういった問い合わせということでしょうか。

坂梨：これは、法律で決まっています、工事等をする際にその土地に埋蔵文化財があるのかなのかというのを確認しなければならず、その問い合わせということですね。

志賀：そうです、ひらたくいいますと埋蔵文化財というのは遺跡ということですね。

石井：この埋蔵文化財のなかで風力、太陽光発電についての問い合わせが増えているのが最近の状況です。

会長：29年度については大丈夫でしょうか、よろしければ30年度についてお願いします。

志賀：2)平成30年度文化財関係事業について説明。

会長：ありがとうございます。30年度についてどうでしょうか。

長：今回始めて参加させていただいたのですが、私は厚田に住んでおり、厚田には子母澤寛というのがあり、没後50年をむかえ、今年度ではなくとも、子母澤寛についてなにかしていただけないかというご提案でした。

佐々木：今年は図書館で展示と講演を行うという予定になっております。来年度以降のことはまだ決まっていますが、今後なにかしらのことはおこなっていくことになるのではないかと思います。

百瀬：今年は子母澤寛について手書き原稿が図書館にあるとおもうのですが、それを展示するということでしょうか。

佐々木：何を展示するのかという具体的なところは今はわかりかねます、申し訳ありません。

会長：浜益の看板というのは昨年の4つに加えてということでしょうか。

石井：はい、新たな場所に解説看板を置く予定です。

会長：地域の方も協力していただく中で、あらたな解説看板がおかれるのは良いことだとおもいます。

若林：新たな看板というのに関して、石狩市内にはあちこちに朽ち果ててしまったようなものがあり、もっと石狩市をまわりに発信できるようなものがあればいいのかなと思うのですが、どうでしょうか。

会 長：関連しますと、そうした説明書がたりないということと、昨年たてたものも華奢で永久的ではないように感じました。また、八幡神社にある灯籠の柱部分が壊れてしまい、彫られた文字が崩れてしまいビニールがされている。ああした八幡神社のものではあるが、文化財という立場からいくと積極的に調査して予算をつけるなどしないと幕末から明治時期にかけての碑がただの崩れた石柱になってしまうため、マークしていついていただきたいと思います。

佐々木：今すぐというわけにはいかないかもしれませんが、意識していかなければいけないとおもいます。

長：ユーカラの調査がありますが、先日藤村氏のチャシ見学にいきのろし台などの話をきいたが、ユーカラの調査とあわせてやっていただけないか。

佐々木：ユーカラ調査というのは文献調査で既に契約の準備に入っているということもあり、あわせて行うということが難しくなっております。

長：わかりました。古いものを残してくという活動をぜひしていただけないかと思いました。

会 長：そのチャシに関してですが、昔の厚田等が出されていた「弁財船」に載った時から触れられていないようで、ぜひその段々がわかるような状態にできればよいのかなと思います。まだまだ石狩市の文化財を再発掘していくことができるのかなと思います。

会 長：よろしいようでしたら、次に移りたいと思います。

石 井：石狩市円形校舎利活用検討委員会の計画について説明。

この計画に伴いまして今年度から行います検討委員会にこの審議会からお二人選出したいと思いますが、事務局一任でよろしいですか。では、村山会長、百瀬副会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

会 長：石狩小学校に関しては、円形校舎ブームというのがあり、北海道で最初で、今でも残っているということで歴史的に価値がある建物ということで今後考えていくという流れがありました。

坂 梨：今のところ指定文化財等には考えていますか？

佐々木：今のところそういうところは具体的には考えておらず、専門家の話を聞いて進めていければと考えていました。

坂 梨：市の指定にすることで活用がしやすくなるということがある市町村もあるようなのでぜひご検討いただければなと思いました。

佐々木：制度等も調べて検討させていただきたいと思います。

会 長：ではこの後の流れもありますので、これで終わりたいと思います。

以上

議事録を確認しました。

平成 30 年 5 月 25 日
石狩市文化財保護審議会

会長 村山 耀一